

2023年 新年のごあいさつ

一般社団法人 群馬県介護支援専門員協会 会長 大澤 誠

皆さま、あけましておめでとうございます。2023年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

2019年から世界を覆うパンデミックCOVID-19感染症は丸三年になろうとしても終息を得られず、コロナ禍で地域経済は深い傷を負い、人間同士の自然なコミュニケーションが制約される中で、お互いを思いあい、いたわりあい、支えあう人々のつながりが保てず、地域共生社会への道は大きく妨げられています。



また、2022年2月に始まったウクライナ戦争は、世界に大きな衝撃を与えました。第二次世界大戦から80年近く、人類は地域紛争や地域限定的な戦争を残念ながら数多く経験してきましたが、全世界を巻き込む核戦争の危機が現実のものとなろうとは思いませんでした。破壊しつくされたウクライナの都市、集落、コミュニティの惨状、多くの市民が傷つき命を落とし、戦禍を逃げ惑う姿を目の当たりにして、世界平和の実現なくして地域共生社会の実現などあり得ないことを、私たちは思い知らされています。折しも、北朝鮮から日本海へ向けて発射される弾道ミサイルは、これまでにない数に及び、政府に防衛費増額の根拠を与え、それとは裏腹に、介護保険サービスの受給対象が狭められようとするなど社会保障費は圧縮されようとしています。

私たちが地域共生社会を創っていくための前提として、愛と平和の精神が人々の間に満ち溢れることが必要だと強く感じさせられます。お互いの違いや多様性を認め合い、ともに暮らし、ともに癒し、ともに生きる社会を一緒に創っていこうではありませんか。

各支部の新年の挨拶・抱負

前橋支部

支部長 野中 和英

新年あけましておめでとうございます。

前橋支部ではコロナ感染拡大のため、昨年は十分な活動ができませんでしたが、今年はWithコロナということで徐々に研修会などの活動を再開していきたいと思っております。

現在、研修会や会議などはオンラインが主体で、良い面もあるのですが、やはり対面で直接顔が見える活動を行っていききたいと思っておりますので、今年もよろしくお願い致します。

高崎・安中支部

支部長 中西 有美子

明けましておめでとうございます。コロナ感染症が収まらない中、支部研修もWeb開催の研修会が主となっています。また、高崎・安中支部の会員向けメール配信サービスなどでは、ケアマネジャーの皆様にお役に立てる多職種からの研修案内も配信しております。今年も、地域の情報などをお届けできるような活動を行っていききたいと思っております。

桐生・みどり支部

支部長（代理） 小沼 説雄

新年明けましておめでとうございます。

桐生みどり支部の本欄は本来なら新支部長が作成されるはずでしたが、組織内転勤で支部長継続が困難となり、昨年10月より前支部長であった私小沼が支部長代理として活動しております。新たな支部長へのつなぎ役として短い間ですが支部活性化のため老体にムチ打って活動を行っていききたいと考えております。

伊勢崎・佐波支部

支部長 島田 幸治

皆さま、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

今回2月18日(土)14時より、ケアマネジメント群馬フォーラムが東毛4支部担当にてオンライン開催され、私伊勢崎・佐波支部長島田が大会長兼実行委員長です。内容はケアマネとしてのネットワークを考えるきっかけにして頂けたら幸いです。是非ご参加をお待ちしております。

太田支部

支部長 浅沼 郁子

新年おめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

太田支部では、Zoom研修会を開催するに当たり、会員のメーリングリストの見直しを行っています。またメール登録が未だお済みでない皆さまは早急に手続きをお願いいたします。皆さまの登録が進み次第Zoom会議、及び研修会を開催いたしますので宜しくお願い致します。

登録方法；以下のアドレスに氏名を記載して送信していただくと登録が完了します。

hasegawa@otv.ne.jp “本年もよろしくお願いいたします。”

利根・沼田支部

支部長 中村 武城

あけましておめでとうございます。前年に利根沼田支部長を拝命しました。当支部ではZoomにて月1ペースで役員会を行ってきましたが、前年11月と12月は地域のコロナ蔓延のため役員会を中止せざるを得ませんでした。コロナの終息を願うばかりです。今年は研修会の開催を企画しています。今年もよろしくお願い致します。

各支部の新年の挨拶・抱負

邑楽・館林支部

支部長 太田 智洋

謹んで新春をお祝い申し上げます。ケアマネジメントにICTの新たな風が吹いて参りました。正に、「新時代」の幕開けです。私も、みなさんと共に日々勉強していきます。

ケアマネにはたくさんの事を求められますが、1歩1歩、丁寧に、同じ時代を生きるもの同士、互いに歩んでいきましょう！

渋川支部

支部長 村上 忠明

あけましておめでとうございます。

コロナ禍も4年目を迎えましたが、落ち着く気配がありません。

しかし、様々な社会活動は動いてきています。

感染対策をしっかり行い、支部活動を進めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしく申し上げます。

多野・藤岡支部

支部長 成瀬 文雄

新年明けましておめでとうございます。多野藤岡支部は藤岡市、多野郡神流町・上野村で活躍している会員（約80名）にて活動を行っております。ここ3年はコロナ禍で思うような活動が行えていませんでしたが、昨年よりWEBを活用した支部役員会議を開催するなど、徐々に活動が再開されています。本年もそのツールを活用した研修会や支部会員との交流会、更には、他の職能団体との連携による研修会の開催など、会員のスキルアップに資する活動を行って参りたいと考えております。

富岡・甘楽支部

支部長 森田 みゆき

新しい年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。思うような活動ができない昨今の状況ではありますが、一つ一つ丁寧にしっかりと足元を固め、大きくジャンプアップできる年でありたいと思います。会員の皆様の声と共に、支部活動がたゆまず進んでいけますよう、脱兎のごとく精進してまいります。今年度もよろしくお願いたします。

吾妻支部

支部長 田村 広行

吾妻郡は田舎で、とても範囲が広く渋川市（旧小野上村）に隣接する旧東村から、車で1時間以上移動が必要な嬭恋村まであります。温泉が多く草津温泉、万座温泉、八ッ場ダムの隣の川原湯温泉、四万温泉、沢渡温泉などがあります。自然が豊かで観光客も多い場所です。

令和3年度～4年度は吾妻支部としての活動が、ほとんど出来ませんでした。

いきなり出没した新型コロナウイルスにやられた感じです。新型コロナウイルスが流行する前は、NPO法人あがつま医療アカデミーと協力しながら研修等を実施していました。

令和5年度も、新型コロナウイルスの感染状況で活動も変わってきてしまいます。

感染の情勢にもよりますが、会員の皆さんと相談しながら、顔を合わせた研修ができればと考えています。また、ケアマネ吾妻の会恒例の宿泊研修もできる日が早くくるよう願っています。

第18回ケアマネジメント群馬フォーラムin東毛

第18回ケアマネジメント群馬フォーラム 講師決まる！

桐生・みどり支部 ケアマネわたらせの会 渡辺 幸恵

第18回ケアマネジメント群馬フォーラム開催に向けて、東毛4支部の実行委員一同、最終段階の準備を進めています。

新型コロナウイルスは、医療へのひっ迫、経済損失とともに人々の交流を分断するといった爪痕を社会に残しました。地域包括ケアの理念のもとに進めてきた地域づくりも大きな影響を受けました。私たちケアマネジャーにも、改めて「つながり」を作ることやネットワーク構築が求められる時代がきています。

今回のフォーラムのテーマは「**社会環境の変化とケアマネジメント～誰とつながる？私のオリジナルネットワーク～**」です。このテーマにふさわしい講師が決定いたしましたので、ご紹介いたします。お二人とも、「地域」そして「つながり」ということに、素晴らしい実践をされている方々です。

お一人目は、社会医療法人JMA東埼玉総合病院 経営企画室室長の中野智紀先生です。

中野先生からは、「明日からできる！ケアマネジャーによる地域ケア～幸手モデルの取り組みから」というテーマでご講演いただきます。



お二人目は、社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院地域ささえあいセンター センター長の澤登久雄先生です。

澤登先生の講演タイトルは、「ケアマネジャーだからこそできる地域の循環・元気を生み出す術！～みま～もの取り組みから～」です。

ケアマネジメントの対象者が地域でその人らしく暮らしていくことを支えるには、私たちケアマネジャー自身もさまざまな人のネットワークを作っていくことが必要となります。中野先生、澤登先生を講師として迎えるこのフォーラムでは、そのためのたくさんの学びが得られるような企画にしていきたいと考えております。

そして、シンポジウムでは、講師のお二人にシンポジストとして登壇いただき、我々群馬県のケアマネジャーに、日々の業務に前向きになれるような応援メッセージを期待したいと思います。

令和5年2月18日14時～17時、オンラインで皆さまとお会いできるのを楽しみにしております。皆さま、予定を入れておいてください！多くの会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

若年がん支援在宅療養支援事業に関わるケアマネジャー養成研修

ケアマネジメントセンターおおいど 竹田 靖子

令和4年11月12日に「若年がん在宅療養支援に関わるケアマネジャー養成研修」の1日目がWebにて開催されました。

この研修は2日間の日程で行われます。

1日目の研修は事業概要と事業の背景から始まり制度利用における書式等の説明が行われました。利用にあたって使いやすいよう書式は簡素化されていることがポイントです。

行政書士の秦野英治氏による講義では、がんになった時に使える社会保障や休職について知識を深めることが出来、ハグハート訪問看護ステーション反町利恵氏による『利用者ケア』の講義では、本人の思いや家族の思い、AYA世代が抱える課題への対応について学ぶことが出来ました。

この制度において群馬県はケアマネジャーへの助成を認めています。

私たちは利用者や家族が使いやすいよう制度を理解し、適切な支援をスピーディに行うことが出来るよう多職種との連携を強化する技術を習得していくことが求められていると感じました。

日本介護支援専門員協会の活動報告

日本介護支援専門員協会 生涯学習体系の運用に関する特別委員会 委員 須田 和也

日本介護支援専門員協会では、昨年度より介護支援専門員の生涯学習制度に基づく研修会がオンライン研修という形で開催されています。昨年度は指導者レベル1（経験年数5年以上：JCMA マスター中級認定）の研修が開催され、本年度は既に実践者レベル1（経験年数6ヶ月：JCMA A級認定）、実践者レベル3（経験年数5年：JCMA AAA級認定）が開催されています。その他の各レベルの研修（経験年数3年：実践者レベル2（JCMA AA級認定）、経験年数5年以上：実践者レベル4（JCMA マスター初級認定）、経験年数10年以上：指導者レベル2（JCMA マスター上級認定））も、今年度中には、開催することを予定しています。

研修受講を希望する方やご興味がある方は、是非、日本介護支援専門員協会のホームページなどをご確認頂ければと思います。また、日本介護支援専門員協会に入会して頂けると、メールマガジンなども配信されますので、未入会の方は是非、入会して頂き、介護支援専門員としてのスキルアップのために受講頂きたいと考えております。どの研修を受講するかは介護支援専門員としての経験年数等によりますので、日本介護支援専門員協会ホームページの下記URLにてご確認頂ければと思います。

日本介護支援専門員協会 生涯学習制度報告書：<https://www.jcma.or.jp/?p=504804>

理事会・委員会報告

委員会報告（学術研修委員会2022年9月から11月の活動報告）

理事会

会長 大澤 誠

今年度、まだ会費を納めていない方については、会報において再度ご案内しています。年明け、2月18日に第18回ケアマネジメント群馬フォーラム、また10月21日・22日においては、北関東三県合同開催による全国大会など、開催に向けて準備を進めている状況です。この機会に会費納入にご協力いただき、多くの方に協会員としてご参加して頂ければ幸いです。

ケアプラン点検支援アドバイザー派遣、ヤングケアラー支援として連絡会議への参画や若年がん患者在宅療養支援事業への制度運用におけるケアマネジャー養成、また、介護関係職種のための口腔機能管理者研修など、県や市町村からの委託事業や他団体との共催研修など、ケアマネジャーにおける活躍の機会がますます広がってきています。

総務財政委員会

総務財政委員長 坂井 崇

令和4年度も第三四半期が過ぎました。対面での研修機会に限られる中、会員を継続してくださっている方、様々な機会から新規にご入会いただいた方にあらためて感謝申し上げます。協会はひとえに会員の皆様の会費によって成り立っております。協会の安定運営のため、是非次年度の入会継続、皆様の周りの方々へのお声かけ、ご協力をお願い申し上げます。総務財政委員会では皆様からの声を受け施設ケアマネジャー向け座談会を準備しております。メール配信サービス等をご確認の上お申し込みいただきますようお願いいたします。

群馬県介護支援専門員連絡協議会

理事・同学術研修委員長 菅野 圭一

前回にも同じことを書きましたが、学術研修委員会を開催せずとも（というか僕に開催する余裕がありません）、優秀な委員の存在により着実に計画は進んでいます。

さて、今年度も力を入れているケアプラン点検アドバイザー派遣事業ですが、8月4日に初任者研修会開催後、各地域への派遣が開始されました。足りなかったアドバイザー担当者も、その後無事新規アドバイザー1名増員が決まり、9月28日の高崎市への1回目の派遣が行われました。今後10月12日の明和町、10月27日の中之条町、11月15日の神流町、12月13日の下仁田町への派遣予定が決まっています。

アドバイザー派遣事業以外にも会員や施設向けの研修会を予定していきますので、決まり次第またご連絡申し上げます。

広報情報委員会

広報情報委員長 松本 勝美

ケアマネ群馬128号も無事に発行することができました。新型コロナも第8波により会員の皆様もご苦労されていると思います。そんな中ですが、研修会や支部活動は継続して実施されていることは、頼もしい限りです。協会活動や支部活動を会員の皆様にお伝えし共有していくために広報情報委員会は会議にて検討しています。会員の皆様の声をケアマネ群馬に活かしていくためにも、執筆依頼があった場合にはぜひともお引き受けください。

支部情報

伊勢崎支部

伊勢崎・佐波支部では令和4年11月6日（日）伊勢崎市役所で行われた介護予防フェスタに参加をしました。コロナ禍になる前は市役所の東館を使って介護や医療に関わる様々な団体が出し物をして行っていました。しかし、コロナ禍後イベントの類は開催できなくなってしまいました。それではいけないと今年は動画やパネル展示を作成しそれを現地とスマホ両方で見られるようにするハイブリット開催とし来場者が密にならずに参加できる企画で行う事になりました。伊勢崎・佐波支部も今回初めて動画の製作をし、上映させて頂きました。動画作成にあたっては役員が家族設定を考え、演技を行い、カメラワーク等考えました。演技経験のある人は多くありませんでしたが、普段の仕事の様子をそのまま撮影できたので取り直しも少なく順調に撮影は進みました。コロナ禍で集まってのイベントは以前のようにするのは難しくなりましたが、今だからこそできる企画もあるのだと動画撮影を通して感じました。

（ケアプランかしま 木暮 俊輔）



高崎・安中支部

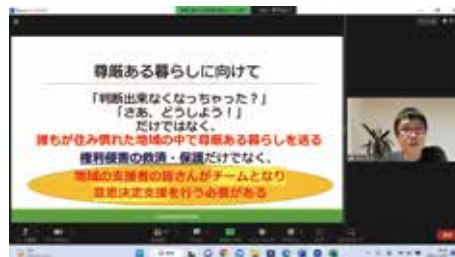
12月1日（木）18時30分からZoomにて、令和4年度第2回高崎・安中支部研修会が開催されました。「判断できなくなっちゃった？さあどうしよう！」そんな時に利用できる制度～成年後見制度～と題し、群馬県社会福祉士会権利擁護センターぱあとなあ群馬センター長須田和也氏に講義をしていただきました。

今回の研修会を開催するにあたってはアンケートで、高齢者の生活を支えていくために活用できる制度について知りたいという要望があったため、実現しました。

須田講師の講義では、難しい制度の説明だけではなく、制度を利用する動機だったり、利用する際のポイントなどを申し込み時の事前アンケートに答える形で説明いただきました。いくつかの事例からは成年後見人等の役割などが詳しくわかりました。また、権利擁護支援として意思決定支援が重要との説明があり、ケアマネとして高齢者の生活を支える上で必要なこと、地域の支援者たちがチームとなって本人の意思決定支援を行うことで、その人が尊厳ある暮らしを送ることができる、ということを知ることができました。

グループワークでは、成年後見制度についての意見交換や、講師にさらに聞いてみたいことなどが上がり、まとめの時間で共有することができて、参加者40名大変勉強になりました。

（高崎市地域包括支援センター 小川 みゆき）



事務局からのお願い

会員の皆様には日頃より本会の運営に関しましてご協力を賜り、心よりお礼申しあげます。

会報誌や研修の情報等が、皆様のお手元にスムーズに届けられますよう、住所変更・勤務先変更のある方は、必ず「変更届」の提出をお願いいたします。

また、勤務先が変更になった場合、支部が変わる場合がありますので、その都度変更届の提出をお願いいたします。

変更届等様式については、群馬県介護支援専門員協会のホームページよりダウンロードができます。

必要事項をご記入頂き、FAXで送信いただくか、事務局までお問い合わせください。

また会員の皆様には、メールアドレス登録を推奨させていただいております。

現在450名近くの方が登録いただいております。

研修等の情報を逸早くお届けできますので、是非お申し込み下さい。

一社) 群馬県介護支援専門員協会 事務局

(群馬県社会福祉協議会 地域福祉課内)

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6173

事務担当：新井

コラム

「転がったりしないように気を付けていてくださいね」転倒に気を付けていただくように、よく使うフレーズです。先日自分自身が「転がって骨折」してしまいました。わずかな石段の隙間に足の側面を取られてコロッと…それ程勢いよく転んだ訳ではなかったのですが、立ち上がろうとしたら痛くて立ち上がれない…受診の結果“下駄足骨折”と言われる中足骨の骨折でした。こんなに簡単に折れてしまうことに驚き、またショックでもありました。利用者に転倒に気を付けるように声掛けをしながら、これほど簡単に怪我につながるとは思っていませんでした。人が自由に立ち上がり、歩き出せばその時点で転倒のリスクを負うことになります。独立して動くことと、動くことを選択すること、そこにはリスクが生じることをしっかり理解しなければならないと、実感させられる経験でした。でも、もう痛い思いはしたくない…転がらないように気を付けましょう！

(社会福祉主事・K)

